

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年1月24日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年1月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【既設多核種除去設備(B)のクロスフローフィルター出口弁のグランド部からの漏えいについて】 既設多核種除去設備(B)のクロスフローフィルター出口弁のグランド部から漏えいしていることを確認。 当該弁のグランド部の増し締めを行い、漏えいが停止したことを確認。	G II	1月22日
2	【雑固体廃棄物焼却設備の排ガス冷却水タンク液位計の指示ふらつきについて】 雑固体廃棄物焼却設備において「排ガス冷却水タンク液位高高」警報が発生。 操作卓にて水位を確認したところ、指示ふらつきを確認。 今後、計器検出部の清掃・点検予定。	G III	1月22日
3	【Dタンクエリア内の堰内における水たまりの発見について】 タンクパトロール員がDタンクエリア内の堰内に水たまりがあることを確認。 当初、原因不明の水たまりとして通報。 その後、作業状況を調査したところ、仮設ホースの残水ブロー及び排水弁内の雨水をDタンクエリア内の堰内に移送する作業を行っていたことが判明。	G III	1月21日
4	【地下水バイパス(H3エリア)一時貯留タンクエリアにおける水たまりについて】 地下水バイパス(H3エリア)一時貯留タンクエリアの内堰と外堰の間および外堰の外側で水たまりを確認。 水たまりの原因調査のため、内堰と外堰の間に水張りを実施したところ、外堰の外側で水の浸み出しを確認。 外堰に損傷があることを推定。 今後、追加調査および必要な対策を実施。	G III	1月21日